

第49回衆議院議員選挙 小選挙区沖縄2区

社会民主党 新垣邦男様のご回答

●質問①

同じ過ちを繰り返さないために、情報公開は必要と考えますか？

理由（ 国内最大規模のクラスターであり、情報公開し再発を防止する。 ）

それとも、国や県の当局だけが状況を把握すべきだと考えますか？

理由（ 患者、家族、医療従事者、病院に出入りする人びと、地域住民にかかわる問題であり、当局だけの把握ではなく、情報の共有化が必要。 ）

●質問②

現在、県の保健部で調査検証作業が行われています。それで十分と考えますか？

理由（ 不十分 ）

新たに第三者委員会などを設け、より専門的な調査検証をすべきだと考えますか？

理由（ 専門家を含めた第三者委員会により中立、客観的に調査検証が可能となる。感染拡大の原因や再発防止策を実効性のあるものにできる。 ）

●質問③

第六波が来た場合、精神病院では再びクラスターが発生すると思いますか？

理由（ 予断予測は避けるべき。現在の対処と予防に尽力すべき。 ）

●質問④

もし第六波が来て精神病院で再びクラスターが発生した場合、どうすべきだと思いますか？

1) 院内でゾーニングなどの努力をし、専門スタッフを拡充して対処すべき

理由（ その時点の状況を見極めて、できる限りのことを行う。 ）

2) 院内でのゾーニングは困難と判断し、コロナ陰性患者をホテルなどに移送すべき

理由（ その時点の状況を見極めて、できる限りのことを行う。 ）

3) 陽性患者全員が専門病院で治療を受けられるよう、日本本土の病院へも転院させるべき

理由（ その時点の状況を見極めて、できる限りのことを行う。 ）

4) その他の可能性

（ クラスターがおきた原因の一つに患者のワクチン接種率が極めて低いことがあげられる。ワクチン接種を至急進める。 ）

認知症は地域でケアをするのが、世界のスタンダードです。しかし、日本では精神病院が受け皿になっています。精神病院は閉鎖性が高く、一般市民が内部状況を把握しにくい現状があります。コロナ禍では、厳しい面会制限により家族ですら患者の状態が分からない事態が生まれました。

その閉鎖性が、ゾーニングやディスタンス確保などを取りづらい状況を生み出し、必然的にクラスター発生を呼び込んだと言えます。

●質問⑤

認知症患者が、精神病院に入院して晩年を過ごすことはやむを得ないと考えますか？ ×

理由（ 居宅介護支援、高齢者施設の不足が原因であり、これらの問題を解決する必要がある。 ）

認知症患者が地域で暮らせる社会づくりが必要だと考えますか？ ○

理由（ 認知症にはだれもがなる可能性がある。

自分らしく尊厳を保ち、地域で暮らせるよう社会づくりが必要。 ）